



# 私たちの手で支えあいの地域をつくる

— 芦屋町社会福祉協議会の取り組み —

▷このページに掲載しているボランティア活動や各種事業に関する相談・問い合わせ  
芦屋町社会福祉協議会 (☎222 - 2866)

## 社会福祉協議会って何をしている団体？

「社協」の略称でも知られている社会福祉協議会は、社会福祉法という法律で規定されている非営利の民間組織で、地域福祉の旗振り役となり、地域福祉を推進する活動を行っています。

## 地域福祉とは

地域福祉とは、それぞれの地域において町民の皆さんが安心して暮らせるよう、地域住民や社会福祉関係者、企業などの関係団体が、互いに協力して地域における福祉課題の解決に取り組む考え方です。地域福祉は、「ふだんのくらしのしあわせ」(ふ・く・し)に取り組むことであり、芦屋町で、普段から皆さんが幸せに暮らすことを支えることが、社協の目的です。

## 普段の暮らしを幸せにするには

「普段の暮らしの幸せ」のためには何が必要なのでしょうか。

福祉の制度やサービスは、税金や保険料を使って行われています。しかし、私たちの生活の中には、既存の福祉制度やサービスだけでは足りないことや不便なことがあり、「ちょっとした困りごと」が出てくる場合があります。一人暮らしの人も増え、地域の皆さんが協力して助け合って「ちょっとした困りごと」の解決に取り組む必要があります。

地域の方々が主役になって、その仕組みを作っていく、社協はそれを支える仕事をしています。



## どのようなことを行っているか

### ●具体的な取り組み

- ・日常生活自立支援事業…福祉サービスの利用援助や金銭管理が必要な人のための支援
- ・生活福祉資金の貸付事業…生活が困窮している人への貸し付けに関する相談
- ・食糧支援…生活困窮者へ食料品の提供
- ・愛の福祉ネットワーク事業…交流会・話し合いを通じての地域における見守り活動

### ●各種ボランティア団体の事務局

- ・芦屋町手をつなぐリボンの会
- ・あしや助けあい・支えあいの会 (あしたの会) など

### ●介護サービス事業

- ・ケアプランの作成
- ・在宅で介護が必要な人へ訪問介護サービスの提供

### ●芦屋町からの受託事業

- ・老人憩の家の管理運営
- ・高齢者能力活用事業…高齢になっても働きたい人へ就業の機会を提供
- ・高齢者等配食サービス事業…調理や買い物が難しいという高齢者へ配食サービスを提供



芦屋町社会福祉協議会では地域における福祉課題の解決に向けて、地域の皆さんと協力しながら業務に取り組んでいます。気になることがあればお問い合わせください。

# 芦屋歴史紀行

その三百三十九

芦屋歴史の里移転開館20周年  
記念特別展

「妖怪！百鬼夜行〜海にひそむもののけたち〜」より②

今回は、近隣の海や芦屋町にゆかりのある妖怪の伝承を紹介します。

## 【平家の亡霊】

全国各地の海に伝わるフナユウレイ（船幽霊）の話は、海で命を落とした人々への思いが集約されたものといえます。また、フナユウレイをアヤカシと呼ぶこともあり、謡曲「船弁慶」では平家の亡霊がアヤカシと呼ばれます。源義経一行の乗る船に憑りつき、逃避行を妨げています。

都を追われ大宰府落ちした平家方。彼らに忠義を尽くした郷土の英雄山鹿秀遠。古代日本最大の海戦地、壇ノ浦に集結した平家方は300艘とも500艘とも記録されています。これらの船団のほとんどは、秀遠指揮のもと集った芦屋・山鹿の海民たちであり、故郷の土を踏むことの無かった弓取・楯取たちでした。

この源平合戦は、各地に妖怪・

怨霊・もののけ・アヤカシを発生させます。地元芦屋には、洞山に騎馬武者の霊が出ると信じられています。また、壇ノ浦には、平家武者の怨念が甲羅に残された平家蟹がうごめき、安徳帝や二位尼とともに身投げした女官は河童に変わり、盲目の琵琶法師芳一が怨霊に耳を奪われました。

## 【海御前（ウミゴゼン、アマゴゼ）】

平教経の奥方は、壇ノ浦の合戦時に入水して河童になったといわれ、福岡県の河童の元締めとされます。海御前は、普段は河童を支配しますが、毎年5月の節句からソバの花が咲く秋頃までの間は、河童を自由にし、白いものや笹に関係があるものを水中へ引き込ませるとされます。これは、源氏の旗が白で、家紋が笹リンドウであるためといえます。海御前の墓と伝えられる碑が北九州市門司区大積に残されており、地元では水天宮と呼ばれ、今も信仰をあつめています。

## 【マヨイブネ（フナユウレイとも）】

芦屋と岡垣の間の海域では、沈没した船の積み荷（肥前陶磁器）が多く発見され、芦屋沖海底遺跡とし



△海御前



△河童石像

て埋蔵文化財包蔵地に指定されています。この海域は、船が多く難破する難所でした。自然と怪しげな話もあるようで、マヨイブネ（迷い船）の伝承が伝えられています。盆や年越しの夜、時化の時などに船を出すと、海上でマヨイブネに行き合うといわれます。夜中なのに灯をつけていなかったり、誰も乗っていないかたり、風に逆らって進んでいたたりするので、一目でわかります。マヨイブネは、正面から近づいてきて、ぶつかると思った瞬間、忽然と消えるそうです。

（芦屋歴史の里）

船の科学館  
海の学び  
ミュージアム  
サポート

Supported by  
日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION

海と日本  
PROJECT

特別協力：船の科学館  
「海の学び」ミュージアムサポート

## 編集後記

▼1月号表紙写真のモデルを今年も募集しています。今年度二十歳を迎える人で、夏や秋に着物やスーツで記念写真の前撮りをする人はいませんか。男女自薦他薦は問いませんので、シティブロモーション係に連絡してください。

（野中）

▼今号のまちのわだいに掲載しているラブアースクリンアップの取材に行った時、2人組の中学生に、どうして参加したのですかと尋ねると「芦屋が好きだから」と照れくさそうに答えてくれました。自治区で参加されていた人たちも団結して海岸のごみを拾っていて、芦屋町をきれいにしたい思いが溢れていました。今後さらさら芦屋町に愛着や誇りを持ってもらえるよう広報などで発信していきたいと思いました。

（篠塚）

▼芦屋町は、8月もイベントが盛りだくさんです。芦屋海水浴場やレジャープールアクアシアン、戦没者慰霊町民盆踊り大会、芦屋釜の里では夏休み園内クイズラリーなどたくさんイベントが行われます。家族や友人を誘って一緒に訪れてみてはいかがでしょう。詳しい日程は今号の情報カレンダーを見てください。

（手塚）

